

表現教育コース

東京学芸大学

教育支援課程 教育支援専攻



コースの目的・目標

- ▶ コロナ禍は、私たちに、人と人が直接に向き合い、コミュニケーションすることの重要性を、再認識させてくれました。
- ▶ このコースでは、さまざまな芸術表現活動の学びを通じて、高いコミュニケーション能力を身につけ、教育の場を支援していくことのできる人材を育てることを目的としています。
- ▶ 創造的なアイデアを提案し、他人にそれを理解してもらい、社会のなかでいかにそれを実現してゆくのかについて、芸術表現活動の実践や研究をとおして学ぶとともに、そうした実践・研究を教育の場に活かす方法について考えます。

専任教員紹介



近藤弘幸（教授）
シェイクスピア研究



嶋崎裕美（教授）
声楽



花家彩子（准教授）
演劇教育、演劇理論



博多歩（特任講師）
ビジュアルデザイン

カリキュラムについて

- ▶ 東京学芸大学のカリキュラムは、教養科目（大学生として身につけるべき事柄を学ぶ科目）、教育創成科目（教育学部の学生として身につけるべき事柄を学ぶ科目）、専攻科目（各専攻の学生として身につけるべき事柄を学ぶ科目）の三層構造となっています。
- ▶ 以下のページでは、表現教育コースの専攻科目をご紹介します。

必修科目

- ▶ 表現教育コース入門セミナー（1年次春学期）
- ▶ 音楽表現概説（1年次秋学期）
- ▶ 演劇と教育（1年次秋学期）
- ▶ 演劇と社会（1年次秋学期）
- ▶ ビジュアルデザイン表現概説（1年次秋学期）
- ▶ 表現教育とキャリア形成（2年次秋学期）

選択科目（2年次）

- ▶ 音楽表現研究（2年次春学期）
- ▶ 批評理論研究（2年次春学期）
- ▶ 戯曲翻訳研究（2年次春学期）
- ▶ 芸術表現実践論（2年次春学期）
- ▶ アート・マネジメント論（2年次春学期）
- ▶ インプロ研究（2年次秋学期）
- ▶ ビジュアルデザイン表現基礎（2年次秋学期）
- ▶ 芸術家と教育支援（2年次秋学期）

選択科目（3年次・4年次）

- ▶ アート・セラピー論（3年次春学期）
- ▶ 舞台表現指導演習（3年次春学期）
- ▶ ビジュアルデザイン実践演習（3年次春学期）
- ▶ 演劇表現分析演習（3年次秋学期）
- ▶ 舞台表現分析演習（3年次秋学期）
- ▶ 表現教育技術演習（3年次秋学期）
- ▶ 教育支援実践演習（4年次春学期）
- ▶ 表現教育卒研演習A（4年次春学期）
- ▶ 表現教育卒研演習B（4年次秋学期）

卒業研究（卒業論文）の主な題目

- ▶ 表現教育の視点から考える中学校体育のダンス指導
- ▶ 表現運動系リズムダンスの授業実践
- ▶ 芸術と地域文化を活用した地方移住促進の取り組みの考察
- ▶ 市民ミュージカルを継続するための課題
- ▶ ユニコーン・シアターの教育普及事業
- ▶ 都市公園におけるパブリックアートのあり方について
- ▶ 自己肯定感を育む「褒めるボードゲーム」の開発と実践
- ▶ ペーター・コンヴィチユニーのオペラ演出について
- ▶ ステラ・アドラー演技論
- ▶ 宝塚歌劇における「男役」の魅力

主な就職先

- ▶ 日本芸術文化振興会
- ▶ 座・高円寺
- ▶ 福武財団
- ▶ サントリーパブリシティサービス
- ▶ syuz'gen
- ▶ 厨子王
- ▶ 10ANTZ
- ▶ イオンエンターテイメント
- ▶ タワーレコード
- ▶ WOWOW プラス
- ▶ 主婦の友社
- ▶ カルチュア・コンビニエンス・クラブ
- ▶ サミー
- ▶ スプリックス
- ▶ ツクルバ
- ▶ ビームス
- ▶ ダイアナ
- ▶ タウンキッチン
- ▶ 日本郵便
- ▶ TMI 総合法律事務所